

開拓財産 ～むかしのどうぐ～

【アイヌの人々と近代開拓】

テーマ1：学校(1)

明治時代は本州から多くの移住者が来道し、道内各地を開墾^{かいこん}し定住しました。明治 32 (1899) 年には平取外八箇^{びらとりほか}村戸長^{はつかそん}役場^{こちょうやくば}が置かれました。

北海道開拓は和人だけではなくアイヌの人々も携^{たづな}わりました。今号からアイヌの人々が近代平取の発展に貢献した史実を開拓財産展示施設のテーマに沿ってご紹介していきます。最初のテーマは『学校』です。

(表 1) 明治時代の平取に開設された学校

開設年	開設時の学校名	現在の学校名*
明治 13(1880) 年	佐瑠太小学校平取分校	平取小学校
明治 25(1892) 年	平取小学校特別分教場	二風谷小学校
明治 33(1900) 年	紫雲古津簡易教育所	紫雲古津小学校
明治 34(1901) 年	幌池簡易教育所	振内小学校
明治 35(1902) 年	長知内簡易教育所	長知内小学校 平成 3 (1991) 年閉校
〃	姉去簡易教育所 (新冠町)	旭小学校 平成 7 (1995) 年閉校
明治 36(1903) 年	幌去簡易教育所 (荷負簡易教育所)	(後の荷負尋常小学校、 貫気別教育所となる)
明治 42(1909) 年	荷負尋常小学校	荷負小学校 平成 23(2011) 年閉校
明治 43(1910) 年	貫気別教育所	貫気別小学校
〃	岩知志教育所	岩知志小学校 平成 2 (1990) 年閉校

*現在の学校名の前には「平取町立」が付きます。

荷負尋常小学校は川上サノウクさんほか 63 名の有志が寄付した土地に建設されました。同校は幾度かの改築を経たのち、昭和 62 (1987) 年に新校舎が建設されました。その後児童数の減少により平成 23 (2011) 年に閉校しました。現在校舎は町の開拓財産展示施設として活用され、教育に対する地域住民の思いを受け継いでいます。

(廣岡絵美)

参考: 荷負自治会 1985『郷土誌 におい』、平取町 1974『平取町史』、財団法人アイヌ民族博物館 1997『アイヌ民族博物館伝承記録 3・昔話 上田トシのウエベケレ』、小川正人 1991『「アイヌ学校」の設置と「旧土人保護法」・「旧土人教育規定」の成立』

明治 5 (1872) 年、明治政府は学制を公布、学校制度を下等・上等小学校 (各 4 年)、下等・上等中学校 (各 3 年)、その上を大学としました。平取では明治 13 (1880) 年の佐瑠太小学校平取分校を皮切りに、明治 43 (1910) 年までの約 30 年間に 10 の小学校が設置されました (表 1)。明治 36 (1903) 年 4 月創立の幌去簡易教育所は、通学区域を荷負と貫気別とし、同年 9 月に荷負簡易教育所と改称されました。その後、児童の増加に伴い荷負と貫気別の 2 か所に移転され、それぞれの地に荷負尋常小学校と貫気別教育所が設立されます。



川上サノウクさん(1874～1952、写真右)はアイヌプリ(アイヌの風習)に通じた人物。同氏の 7 人の子どものうち木村キミさんと上田トシさんは、アイヌ口承文芸の伝承者として活躍。写真提供: 川奈野一信氏
*この写真は今後、展示施設で公開予定です。



開拓財産展示施設 見学のご案内



【開館日時】*変更の場合あり

5～11月の月・水・金曜日(祝日休館) 9:00～12:00
火・木曜日 (祝日休館) 9:00～16:30

上記以外の日程のご見学についてはお問合せ下さい

【ご予約・お問合せ】

平取町立二風谷アイヌ文化博物館 ☎01457-2-2892
または 沙流川歴史館 ☎01457-2-4085